



5~17歳の青少年向けCOVID-19 ワクチン

保護者の方からのよくあるご質問

5~17歳の青少年は、PfizerのCOVID-19ワクチンの接種を受けることができます。

ワクチン接種は常に無料です。

あなたもお子様も滞在資格について質問されることはありません。

ワクチン接種会場を見つけるには、[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov) または [VacunateLosAngeles.com](https://www.vacunatelosangeles.com) (スペイン語) をご覧ください。

なぜ私の子供はCOVID-19のワクチン接種を受ける必要があるのですか？

COVID-19ワクチン接種の利点はリスクを上回ります。COVID-19ワクチン接種は、お子様がCOVID-19への感染や感染による長期的な合併症を予防する最善の方法だからです。

子供のCOVID-19の症状は大人よりも軽度ですが、重症化する場合があります。悲しいことに、何百人もの子供たちが既に亡くなっており、最初は軽症でも数週間後に「小児多系統炎症性症候群」(MIS-C)を発症する子供もいます。これは、心臓、肺、腎臓、脳、皮膚、目、胃腸器官など、体のさまざまな部分に炎症が起こる病気です。

成人と同様に、感染した子供の中には、長期的な後遺症(コロナ後遺症と呼ばれる)が残る場合もあります。コロナ後遺症が発症した子供は、倦怠感、頭痛、集中力の低下などの症状が現れます。この症状は、COVID-19感染後、数週間から数か月続くことがあります。最近の研究では、COVID-19に感染した子供が糖尿病と診断される可能性が高いことが示されています。

お子様がCOVID-19で重症化することや、小児多系統炎症性症候群、またはコロナ後遺症になる可能性について事前に知る方法はありませんが、ワクチン接種がこれらの合併症のリスク軽減に役立っていることは確かです。

お子様は、ワクチン接種を完了することで、友達と遊んだり、通学したり、スポーツを楽しんだり、家族や親戚に会いに行ったりと日常の活動をより安全に行うことができるようになります。お子様がワクチン接種を受けることで、家族や友人を守ることにもなります。これは、特にワクチン接種を受けていない人(5歳未満の子供など)、[高齢者](#)や[特定の基礎疾患](#)のある人など、感染した場合に重症化するリスクが高い人を守ることに役立ちます。

詳細については、CDCの[子供及び10代の青少年向けCOVID-19ワクチン接種](#)を参照してください。

受けるワクチンの種類と時期

私の子供はどのCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

5~17歳の子供は、PfizerのCOVID-19ワクチンの接種を受けることができます。

- 5~11歳の子供は、この年齢層向けに設定された用量のPfizerのワクチンの接種を受けます。この有効成分は同じですが、接種用量は、通常のPfizerのワクチン接種の3分の1で、より細い注射針が用いられます。
- 12歳以上の青少年は、成人と同じ用量のPfizerのワクチン接種を受けます。

18歳未満の子供にModerna及びJohnson & Johnsonのワクチン接種は行われていません。

Pfizerのワクチンの詳細については、ワクチン接種を受ける方及び介護者向けのファクトシートをご覧ください。

- [12歳以上](#)向け
- [5-11歳](#)向け



5~17歳の青少年向けCOVID-19 ワクチン

保護者の方からのよくあるご質問

子供はいつ2回目のワクチン接種を受けるべきですか？

2回目接種は1回目接種から3~8週間後に受けることができます。

- 一部の5歳以上のお子様、特に12~17歳の青少年は、8週間の接種間隔を置くことが最適だと思われます。これは、1回目と2回目の接種間隔が長くなるとワクチンの有効性が向上するとみられるためです。また、既に稀な心筋炎（心臓の病気）のリスクをさらに軽減します。
- お子様が中等度または重度の免疫不全症である場合、またはより早くできる限り完全な保護が必要な場合（たとえば、COVID-19の市中感染や個人の重症化リスクに対する懸念の増大など）は、3週間が推奨されます。

ブースター接種は、2回目の接種から5か月後に受けることが推奨されます。

お子様の免疫力が中等度または重度に低下している場合は、1回目の接種から3週間後に2回目のワクチン接種を受けることをお勧めします。また、追加のワクチン接種を受けることをお勧めします。詳細については、お子様のかかりつけ医に相談するか、CDCのウェブページ「[中等度から重度の免疫不全の方向け COVID-19 ワクチン接種](#)」をご覧ください。

子供はブースター接種を受けるべきですか？

はい。5歳以上のすべての人にブースター接種が推奨されます。免疫応答を増強させるために、2回目の接種から5か月以上経過後にブースターの接種が行われます。

お子様の免疫力が中等度または重度に低下している場合は、Pfizer ワクチンの3回目の初回接種から3か月以上経過後にブースター接種を受けることが推奨されます。12歳以上の方は、1回目のブースター接種から4か月以上経過後に2回目のブースター接種を受けることが推奨されます（合計5回の接種）。詳細については、お子様のかかりつけ医に相談するか、CDCのウェブページ「[中等度から重度の免疫不全の方向け COVID-19 ワクチン接種](#)」をご覧ください。

[CDCのブースター接種ツール](#)を使用して、お子様のブースター接種の時期、COVID-19 ワクチン接種状況を最新の状態に保つようにしましょう。

今すぐ子供にワクチン接種を受けさせるべきですか、それとも秋に学校が始まる少し前まで待つべきですか？

現時点で受けられるワクチン接種を全て済ませておくために、ワクチン接種とブースター接種の時期がきたら受けさせることでお子様を保護することが推奨されます。ロサンゼルス郡では、引き続きCOVID-19感染の増加が見られています。この追加のワクチン接種は、免疫応答を増強させ、健康を維持することに役立ちます。大人や年長の子供と同じように、ブースター接種は安全で耐性が良好です。これにより、COVID-19による重症化、入院、その他の短期的および長期的な合併症に対するお子様への保護が強化されます。

子供が2回目の接種前に12歳になった場合、どのワクチン接種を受けさせたら良いですか？

推奨されるワクチンは、体重ではなくお子様の年齢に基づいています。お子様が接種時に11歳なら、12歳になる時期に関係なく、5~11歳向けの用量の接種を受けてください。これがこの年齢層にとって安全かつ効果的です。お子様がもうすぐ12歳になる場合でも、誕生日が過ぎるのを待ってワクチン接種を受けることは推奨されません。

お子様が1回目の接種後に12歳になった場合は、2回目接種で12歳以上の人向けのワクチン接種を受けるこ



5~17歳の青少年向けCOVID-19 ワクチン

保護者の方からのよくあるご質問

とが推奨されますが、2回目で5~11歳向けの用量の接種を受けたとしても、再度接種し直す必要はありません。

私の子供がすでにCOVID-19に感染した場合でも、ワクチン接種を受ける必要がありますか？

はい。COVID-19に感染したことがある場合でも、ワクチンは再感染予防に役立つためワクチン接種は必要です。COVID-19に感染した後はCOVID-19感染症からある程度の保護（「自然免疫」と呼ばれる）を得ることができます。しかし、保護のレベルは、症状の程度、感染から経過した時間の長さ、及びお子様の年齢によって異なります。現在、その個人が感染から保護されているかどうかを正確に示すことのできる検査はありません。

お子様が現在COVID-19に感染している場合は、病状から回復して隔離期間が終了するまで待ってください。これは、ワクチン接種を受けに行く際に、医療従事者や他の人に感染させないようにするためです。

COVID-19 ワクチンやブースター接種の開始や継続をお子様が最初に COVID-19 に感染してから3か月間は待つことを検討してください。これは、感染後最初の3か月以内は、COVID-19 に再感染する可能性が低く、感染からワクチン接種までの間隔が長いと、ワクチン接種に対する免疫応答が向上する場合がありますためです。

お子様が「小児多系統炎症性症候群」（MIS-C）を発症した場合、回復後、ワクチン接種をしばらく待つ必要がある場合があります。その場合は、医師に相談してください。

COVID-19 ワクチン接種の安全性

5~17歳の子供がワクチン接種を受けても安全ですか？

はい。小児向けに COVID-19 ワクチン接種を推奨する前に、科学者はワクチン接種が安全で効果的であることを確認するために何千人もの子供たちを対象に臨床試験を実施しました。これまでに5歳から17歳までの数千万人に及ぶ子供と10代の青少年が、少なくとも1回の COVID-19 ワクチン接種を受けており、継続的な安全性の監視により、子供と青少年に対する COVID-19 ワクチンの安全性が引き続き確認されています。

副反応は軽度で一時的なものであり、定期接種後に経験するものと同様です。子供の COVID-19 ワクチン接種後の重度の副反応はまれです。重度の副反応が報告される場合、ワクチン接種の翌日に最も頻繁に発生しています。

稀ではありますが、Pfizer または Moderna の COVID-19 ワクチン接種後、心筋炎（心臓の筋肉の炎症）および心膜炎（心臓の外層の炎症）の症例が報告されています。多くの場合、その症例は2回目のワクチン接種後の12歳~39歳の男性に確認されています。これらの稀な状態になるリスクは、1回目と2回目の接種の間隔が長くなるとより減少する場合があります。

- 5歳~11歳の子供では、ワクチン接種100万回あたり約2件の症例が報告されています。
- 12歳~15歳の男性では、ワクチン接種100万回あたり約70件の症例が報告されています。
- 16歳~17歳の男性では、ワクチン接種100万回あたり約105件の症例が報告されています。

5歳以上の人々を対象とした最近の研究では、COVID-19 感染後の方が、Pfizer または Moderna ワクチンの接種を1回以上受けた後よりも、心筋炎などの心臓合併症のリスクが高いことが分かっています。この所見は、すべての年齢層の男女に見られました。ワクチンに関連する心筋炎は軽症であり、他の原因によ





5~17歳の青少年向けCOVID-19 ワクチン

保護者の方からのよくあるご質問

る心筋炎ほど長くは継続しないことを知っておくことも重要です。ワクチン接種後に心筋炎または心膜炎を発症した人の多くは、投薬と休息により改善し、早期に体調が回復しています。お子様や他の方が、胸部の痛み、息切れ、心拍数の増加や心臓の粗動、または動悸を感じる場合は、直ちに医師の診察を受けることをお勧めします。

詳細については、CDCのウェブページ「[mRNA COVID-19ワクチン接種後の心筋炎及び心膜炎](#)」を参照してください。

もうひとつの稀な副反応はアナフィラキシーです。これは、いかなるワクチンでも接種後に発症する可能性のある深刻なアレルギー反応です。COVID-19 ワクチン接種後は短時間の経過観察が行われるので、アナフィラキシーが発症した場合でも直ちに治療を施すことができます。また、それほど重症ではないその他のアレルギー反応も起こる場合があります。お子様が COVID-19 ワクチン接種を受け、ワクチン接種会場を離れた後に重度のアレルギー反応を起こしていると思われる場合は、911 に電話して直ちに治療を受けてください。詳細については、CDC のウェブページ「[COVID-19 ワクチン接種後のアレルギー反応](#)」をご覧ください。

CDCは、5歳以上のすべての人にCOVID-19 ワクチン接種を推奨しています。入院、長期的な健康問題、死亡などのCOVID-19感染症による既知のリスクは、ワクチン接種に対して稀な有害事象を起こす潜在的なリスクを上回ります。

子供にはどのような副反応が見られますか？

ワクチンの副反応は子供と大人で類似しており、腕の痛みや発赤、疲労感、頭痛、筋肉痛、発熱、悪寒などがあります。これらの副反応は、日頃の生活に多少影響してくるかもしれませんが、1~2日以内に体調は改善するはずで、全ての人に副反応が出るわけではありません。副反応は正常な反応であり、体が免疫力を高めていることを示しています。

子供がCOVID-19ワクチンからCOVID-19に感染することはありますか？

いいえ。お子様がワクチン接種によりCOVID-19に感染することはありません。米国で使用されているCOVID-19ワクチンには、COVID-19を引き起こすウイルスは含まれていません。

子供はCOVID-19と他の予防接種を同時に受けても安全ですか？

はい。5歳以上のお子様は、インフルエンザ、MMR（はしか、おたふく風邪、風疹）、Tdap（破傷風、ジフテリア、百日咳）などの他のワクチンと同時にCOVID-19ワクチンの接種を受けることができます。COVID-19ワクチン接種場でお子様が必要な他のワクチンが提供されていない場合、いつでも別の場所での他のワクチン接種を受けても問題ありません。ワクチン接種の間隔を空ける必要はありません。

アレルギーのある子供はPfizerのCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

場合によります。

- 経口薬、食品(卵を含む)、ラテックス、ペット、花粉などにアレルギーのある人、またはアレルギーの家族歴がある子供は、ワクチン接種を受けることができます。ワクチンには、食品タンパク質（卵やナッツ製品など）、ゼラチン、ラテックス、抗生物質、金属、または防腐剤（チメロサールや水銀など）は含まれていません。Pfizerの COVID-19ワクチンに含まれている成分と含まれていない成分について詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。



5~17歳の青少年向けCOVID-19 ワクチン

保護者の方からのよくあるご質問

- (重篤でなくとも) ワクチンまたは注射療法に対してアレルギー反応を起こしたことのある人は、医師に相談して、ワクチン接種を受けても安全かどうかを判断する必要があります。
- ポリエチレングリコール (PEG) にアレルギーがあるお子様は、Pfizerのワクチンの接種を受けないでください。

どのワクチンでもアナフィラキシー(重度のアレルギー反応)や他のアレルギー反応を起こすリスクはわずかにあります。COVID-19ワクチン接種後に、接種者全員の短時間の経過観察を行う理由はここにあります。

アレルギー反応に関する情報は変更される場合があります。CDCの「[アレルギーを持つ方向けのCOVID-19ワクチン](#)」のウェブページから最新のガイダンスを確認し、医師にご相談ください。

ワクチンは不妊症を引き起こしますか？

いいえ。どのワクチンに関しても女性または男性に不妊の問題を引き起こすという証拠はありません。これにはCOVID-19ワクチンも含まれます。mRNAを含むワクチン成分、またはCOVID-19ワクチン接種後に産生された抗体が、現在または将来の妊娠に問題を引き起こすという証拠はありません。研究によると、ワクチン接種を受けた男女とワクチン未接種の男女の妊娠成功率に差異は見られていません。ワクチンは人のDNAを変化させることはありません。また青年期の発達に影響を与えるという証拠もありません。詳細については、CDCのウェブページ、[妊娠を希望されている方へのCOVID-19ワクチン](#)のウェブページをご覧ください。

COVID-19ワクチンは子供の月経に影響を及ぼしますか？

一部の人は、ワクチン接種後の生理の変化を報告しています。これには、より多い出血や酷い生理痛などが含まれます。最近の2つの研究では、COVID-19ワクチン接種後の一般的ではありますが軽微な変化が示されました。これには、月経周期の長さおよび間隔の変化、ならびに通常よりも多い出血が含まれています。これらの変更は一時的なものです。

ストレスや睡眠、食事、運動、一部の薬など、多くの原因が月経周期の変化を引き起こす可能性があることを認識しておくことが重要です。生理不順は10代の若者の間では非常に一般的であり、特定の原因が全くない場合もあります。お子様の月経について懸念がある場合は、医師に相談してください。

COVID-19ワクチンは子供に長期的な副反応を引き起こす可能性がありますか？

いいえ。その他のワクチンから分かっていることは、稀な副反応が発生する場合、通常ワクチン接種を受けてから6週間以内に発生するということです。このため、食品医薬品局(FDA)は、ワクチンの使用を認可する前にCOVID-19ワクチンのそれぞれについて、最後に接種を受けてから少なくとも8週間、追従して研究することを義務付けています。CDCは引き続きFDAによって承認されたCOVID-19ワクチンを注意深く監視しています。安全性の問題が発生した場合、FDAとワクチンの製造業者は協力して安全性の懸念に対処に向けて取り組みます。お子様が長期的な副反応を発症する可能性は、COVID-19ワクチン接種からよりもCOVID-19に感染することからの方が高いです。

子供がワクチン接種後に有害事象（副反応疑い）が発生した場合、どのように報告すればよいですか？

ワクチン接種後にお子様有害事象が現れた場合は、医師に相談し、副反応についてワクチン有害事象報告システム(またはVAERS)に報告してください。ワクチンが原因であるかどうか分からない場合でも、報



5~17歳の青少年向けCOVID-19 ワクチン

保護者の方からのよくあるご質問

告を行ってください。VAERSは、FDAとCDCが発生しうるワクチンの安全上の問題を検出するために使用している早期警告システムです。報告する場合は、1-800-822-7967に電話するか、<https://vaers.hhs.gov/reportevent.html>にアクセスしてください。

スマートフォンをお持ちの場合は、お子様をV-Safeに登録することで、CDCがワクチンを監視できるようになります。V-safeはスマートフォン用のツールで、ワクチン接種後にお子様の健康状態を確認するテキストメッセージが送信されます。お子様一人一人が別々に登録してください。すべてのv-safeのテキストメッセージは、親または保護者のスマートフォンに送信されます。

VAERS、及びV-safeは医学的アドバイスを提供していません。COVID-19ワクチン接種後に懸念される症状や健康上の問題がある場合は、医師に相談するか、治療を受けるようにしてください。

子供にワクチン接種を受けさせる

子供はどこでワクチン接種を受けることができますか？

ワクチン接種は、ロサンゼルス郡の数百箇所で受けることができます。これには、小児科医院、診療所、薬局、学校、特別なCOVID-19ワクチン接種会場、およびポップアップサイトが含まれます。大半の場所で予約は不必要です。

ワクチン訪問接種は、寝たきりなどで外出が困難な方がご利用できます。[VaccinateLACounty.com](https://vaccinateLACounty.com)にアクセスし、「[ワクチン接種を受ける方法](#)」をクリックして詳細をご覧ください。もしくは、ワクチンコールセンター（833-540-0473、年中無休 8AM ~ 8:30PM）にお電話してください。そこでは、ワクチン接種場所への無料の交通手段を手配するサービスを提供しています。必ずお子様の年齢に適したPfizerのワクチンを提供している場所を選択してください。

COVID-19ワクチン接種は無料ですか？

はい、COVID-19ワクチン接種は5歳以上のすべての人が無料で受けることができます米国に在住するすべての対象となる方々は健康保険や滞在資格に関わらず、COVID-19ワクチン接種を引き続き受けることができます。ワクチン接種会場でああなたの健康保険証の提示を求められる場合がありますが、子供がワクチン接種を受けるために保険証は必要ありません。

子供のデジタルワクチン接種記録を取得するにはどうすればよいですか？

お子様がカリフォルニア州でワクチン接種を受けた場合は、白いワクチン接種記録カードを受け取ります。そしてmyvaccinerecord.cdph.ca.govからデジタルCOVID-19ワクチン接種記録をリクエストすることができます。これは公式記録です。Androidの携帯電話ではGoogle Pay、iPhoneではApple Healthのアプリにダウンロードできます。ワクチン接種を受けたときに同じメールアドレスや携帯電話番号を使用しているも、家族の一人一人の記録を取得できます。詳細については、[ワクチン接種記録](#)のウェブページをご覧ください。

子供がワクチン接種を受けるために同意書を提出する必要がありますか？

18歳未満の青少年がワクチン接種を受けるには、親/保護者または介護者からの同意書が必要です。あなたが接種会場に同伴できない場合は、電話、ビデオ、または書面で同意する旨を伝えることが許可される場合があります。行く予定の場所の同意要件をご確認ください。公衆衛生局が運営する接種会場の場合は、要件を確認し、ph.lacounty.gov/vaccineappointmentから同意書をダウンロードすることができます。「[接種会場へ行く準備](#)」をクリックするか、ワクチンコールセンター（833-540-0473、年中無休 8AM ~ 8:30PM）にお電話してください。



5~17歳の青少年向けCOVID-19 ワクチン

保護者の方からのよくあるご質問

一部例外があります。自給自足をしている15歳以上の未成年者（例：法的に独立している、または自立をしている未成年者、既婚者、または結婚歴のある未成年者）は、自己同意書を提出することができます。あなたが里親、親類縁者、または短期住宅治療プログラム（STRTP）のスタッフである場合、里子が同意する場合に限り、同意書を提出することができます。里子がワクチンを希望しているが里親が同意していない場合、彼らは自分の弁護士に連絡することができます。

子供がワクチン接種を受ける際、どのような書類を持参する必要がありますか？

一部のワクチン接種場所では写真付き身分証明書の提示が求められる場合があります。あなたが里親であり、里子が写真付きの身分証明書を所持していない場合は、弁護士に連絡を取ってください。もしくは、別の方法として、ロサンゼルス郡公衆衛生局が運営する接種場所に行くことができます。そこでは写真付きの身分証明書は必要ありません。

同意については、上記を参照してください。行く予定の場所の要件を確認してください。それらの情報はウェブページまたは予約確認の電子メールまたはテキストに記載されています。ロサンゼルス郡公衆衛生局のワクチン接種会場の要件については、ph.lacounty.gov/vaccineappointmentのウェブサイトをご覧ください。「[接種会場へ行く準備](#)」をクリックするか、ワクチンコールセンター（1-833-540-0473、年中無休8AM ~ 8:30PM）にお電話してください。

COVID-19ワクチンについて子供にどのように説明したらよいですか？

青少年がCOVID-19ワクチンについての事実を知ることが重要です。インターネットやソーシャルメディアには、COVID-19やワクチンに関する誤った情報がたくさん溢れています。COVID-19についてお子様と話し合い、お子様の持つどんな質問にも答えてあげてください。

COVID-19に感染した場合の健康上のリスクと、ワクチン接種がどのようにお子様を保護してくれるのかを教えてあげてください。ワクチンは安全であり、ワクチンにはウイルスが含まれていないことを説明してください。お子様と一緒に副反応について調べて、それらが正常であることを伝えましょう。お子様がワクチン接種を受けることに緊張している場合は、気持ちを落ち着かせてあげてください。

ワクチン接種を受けることで家族やお友達を守ることができることに改めて気付かせましょう。また、スポーツをしたり、友達と遊んだり、家族や親戚に会いに行ったりすることがより安全にできるようになります。

お子様に質問や懸念がある場合は、かかりつけ医や小児科医など、十分知識を持つ信頼できる人と話してもらいましょう。